

がんばれ大阪の企業

なにわの 環境経営かわら版

大阪市環境経営推進協議会 第14号 平成23年1月
Osaka City Promotion Council of Environmental Management



第2回視察研修会 サラヤ株式会社 伊賀工場

平成22年度「第2回視察研修会」は、「衛生・環境・健康」に貢献する商品とサービスを提供しておられるサラヤ株式会社様の伊賀工場を見学させていただきました。

伊賀工場では、手指消毒剤、うがい薬などの医薬品や医薬部外品を製造され、その工場内の製造設備の省エネルギー化に積極的に取り組まれており、太陽光パネルの設置やLED、無電極ランプシステム、排水を利用したビオトープの導入など、工場全体の環境に配慮した取り組みが顕著であり、是非、当協議会の視察先にとのお願いを快くお引き受けいただき今回の視察研修会が実現できました。

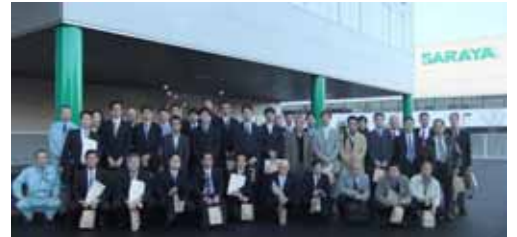
当日（11月18日）は、37名の参加者が天王寺駅前に集合した後、バスで三重県伊賀市に向かいましたが、車中では工場概要や太陽光パネルの設置経過など詳しく説明をして頂き、予備知識を得た上で視察研修に入ることが出来ました。

到着後まず、伊賀工場長様からプロジェクターを使用して製品紹介や日常の環境活動についての紹介を受け、2重ガラスやLED灯の採用、作業者の作業に応じた防塵服の着用、2重扉構造の防虫対策などいたるところに環境への配慮をしている状態を説明して頂きました。

その後、2班に分かれて実際に稼働中の製造工程の見学をさせて頂き、また、蛍が生息しているという工場棟の全ての排水を集めたビオトープと屋上に設置された太陽光発電パネルをご案内いただきました。

企業のテーマである「衛生・環境・健康」に特化された製品づくりと、熱帯雨林の保存や生物多様性への活動として取り組んでおられる「ボルネオの森」を守る「ボルネオ保全トラスト」への参加など、地球環境の未来を見つめた企業活動は、環境経営の模範として大いに感銘を受けた研修会となりました。

集合写真



工場内の見学



ビオトープ



平成 22 年度第 2 回セミナー 電気自動車の現状と将来 エコドライブの実践と効果

平成 22 年 10 月 21 日(木)の午後 2 時から大阪市中央公会堂の地階大会議室において、第 2 回セミナーを行いました。

今回は、第 1 回の視察研修会で試乗会を行なった電気自動車を継続テーマとして取り上げ、その将来展望について早稲田大学理工学部教授の大聖(だいしょう)泰弘氏に、エコドライブの効果について(財)省エネルギーセンター部長の笠井純一氏にと、専門家お二人を講師にお迎えして、とても貴重なお話を聞きました。

「電気自動車の現状と将来の発展を考える」

早稲田大学理工学部教授 だいしょう 大聖 泰弘 氏

ガソリン車・ディーゼル車との排出ガス、CO2 排出量や燃費の比較に始まり、電気自動車の紹介、リチウムイオンバッテリー、ハイブリッド自動車などの技術的解説、早稲田大学でも取り組みを行なっておられる次世代電力網「スマートグリッド」の実証実験、コミュニティー電動マイクロバスなど、最先端の話題までこまかく紹介をいただきました。



高名な教授のセミナーを期待して、遠方からかけつけられた参加者もおられ、電気自動車の持つ将来性を認識させていただきました。

「エコドライブの実践と効果」

財団法人 省エネルギーセンター
エコドライブ推進部 笠井 純一 氏

「LET'S スマートドライブ」と名づけた「車をかしこく利用し、かしこく運転する」ノウハウをわかりやすく説明して頂きました。

とくに、発進、巡航、減速、停止の 4 つの走行モードを、それぞれ実際の運転状態の動画を交えながら燃費の違いを説明され、エコドライブの必要性とその効果を実感として理解させていただきました。



「エコドライブ 5-5-5」の教えは、「発進時 5 秒間の省エネ意識」「目標速度を 5 km/h 抑制」「5 秒の停止でアイドリングストップ」であるとして、深く印象に残るお話をいただき、今後の各自の運転時に役に立っていただけるものと思っております。

当日は、会場いっぱいの 55 名の参加者があり、セミナー後の質疑応答も盛んに行なわれ熱気あふれるセミナーとして修了することが出来ました。



会場風景



質疑応答

レンゴー株式会社 淀川工場

レンゴーグループは、段ボールをはじめ、お客様のあらゆる包装ニーズにお応えする「パッケージング・ソリューション・カンパニー」として、「包む」「装う」ことにより、お客様の商品価値を高めるとともに、「物の流れ」を最適化することを通じて社会に貢献しています。

当レンゴー(株)淀川工場は、段ボールの原料である段ボール原紙を製造しています。段ボールは、客先で使用された後、95%以上が再び新しい段ボールに生まれ変わるリサイクルの優等生です。

1回/2ヶ月実施のクリーン作戦風景



当工場は、2006年にISO14001を認証取得しました。レンゴーグループの環境憲章に則り、工場の活動・製品・サービスなど全てにおいて適切な環境保全活動を継続的に行うだけでなく、より高いレベルの活動をするため、工場独自の環境方針を定めています。

工場各部署の部門長と各部署の主力メンバーで構成された環境委員会を組織し、毎月開催する環境委員会やWG会議を通じて、工場で発生した環境に係わる課題を解決するだけでなく、常により高い目標設定を行っています。

薬品漏れを想定した緊急事態対応訓練の風景



工場の環境目的・目標は、

エネルギー原単位、

排水原単位、

廃棄物原単位、

薬品原単位の削減、及び、

工場周辺の定期的な清掃活動

を掲げており、全部署が一体となり環境保全活動に取り組んでいます。

又、これらの進捗状況を、毎月、3ヶ月、6ヶ月、1年の期間ごとに検証しています。

エコステーション(ネットワークカメラで常時監視)



住所：大阪市福島区大開 4-1-186 Tel 06-6465-5065
会社のホームページ <http://www.rengo.co.jp/>

地球温暖化防止パートナーシップフェア

平成 22 年 12 月 12 日(日)クレオ大阪中央において、大阪市となにわエコ会議の主催により、「地球温暖化防止パートナーシップフェア」(以下、「フェア」)が開催されました。

今年は、同じ頃、メキシコのカンクンで気候変動枠組条約第 16 回締約国会議(COP16)が開催されており、2012 年で期限が切れる京都議定書に続く国際的な枠組みを決める会議として、世界的にその動向に注目があつまる中、当フェアは開催されました。

今回の地球温暖化防止パートナーシップフェアは、地球温暖化やごみ問題などの現代の環境問題を解決するために、私たちは何をすれば良いのかについて、市民、環境NPO、事業者の方々とともに考えるイベントです。

基調講演では、環境問題に経済学の視点を取り入れながらも難解にならず、日々のくらしの場面を例にとりあげながら、わかりやすい内容でした。

また、創作環境落語では、「フードマイレージ」や「ゼロエミッション」などの環境用語について、オリジナルの環境落語で、笑いを交えながら親しみやすくお話いただきました。

最後のコンサートでは、日本ではめずらしい古代中国の楽器である「編鐘(へんしょう)」の演奏をしていただきました。日本人の感覚で、現代的にアレンジされており、自然や風景をテーマにした「揺らぎ」と「癒やし」の音が奏でられ、会場全体が柔らかい雰囲気にもまれていました。

<p>第 1 部 【平成 22 年度環境表彰受賞者】 (個人の部) ・淀川区 長谷川 勝美 (団体及び事業者の部) ・鶴見区 鶴見のほたるを飛ばそう会 ・鶴見区 地球館パートナーシップクラブ ・都島区 株式会社 シード</p>	<p>第 2 部 【基調講演】 「温暖化を解決する社会を考える」 講師 坂田 裕輔 氏 近畿大学経済学部総合経済政策学科教授 【創作環境落語】 「環境配慮型屋台」 飯田 哲也 氏 大阪環境カウンセラー協会執行理事</p>	<p>【コンサート】 古代中国楽器 「編鐘(へんしょう)」による 「ゆらぎの音コンサート」 奏者：長谷川 有機子 氏 編鐘演奏家・作曲家、イヤークラムの会(音からの教育・セラピー)</p>
---	--	--

事務局だより

第 4 回セミナー

3月16日(水) 午後

ATC ITM 棟 11F 展示イベントホール(予定)

「中小企業向け CSR レポートの作り方」

「CSR レポートの効果的な PR 手法」

何れも予定です。詳細決定次第、別途ご案内を致します。

【編集後記】

- ・瞬く間に新年号の発刊になりました。いつも行事に追いかけていた感じがありますが、今年はもう少し余裕を持って一步一步歩いていきます。亀のように着実に。(T)

社員環境教育用出前講座のご利用願い

貴社ではもうお済でしょうか！

社員環境教育にご利用いただける出前講座の枠に余裕があります。

専門家を無料で派遣しますので、社員環境教育にご利用下さい。

第 14 号 平成 23 年 1 月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

住所：〒545-8550 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-5-1 あべのルシアス 13 階

大阪市 環境局 環境施策部 地球温暖化対策担当

TEL 06-6630-3467 FAX 06-6630-3580

業務委託先：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住所：〒552-0021 大阪市港区築港 2-8-24 pianPO411 号室

大阪市環境経営推進協議会事務局業務担当

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

http://www.osaka-e-keiei.org/